

月刊 やちまなこ

2017.12.15 発行

No.241

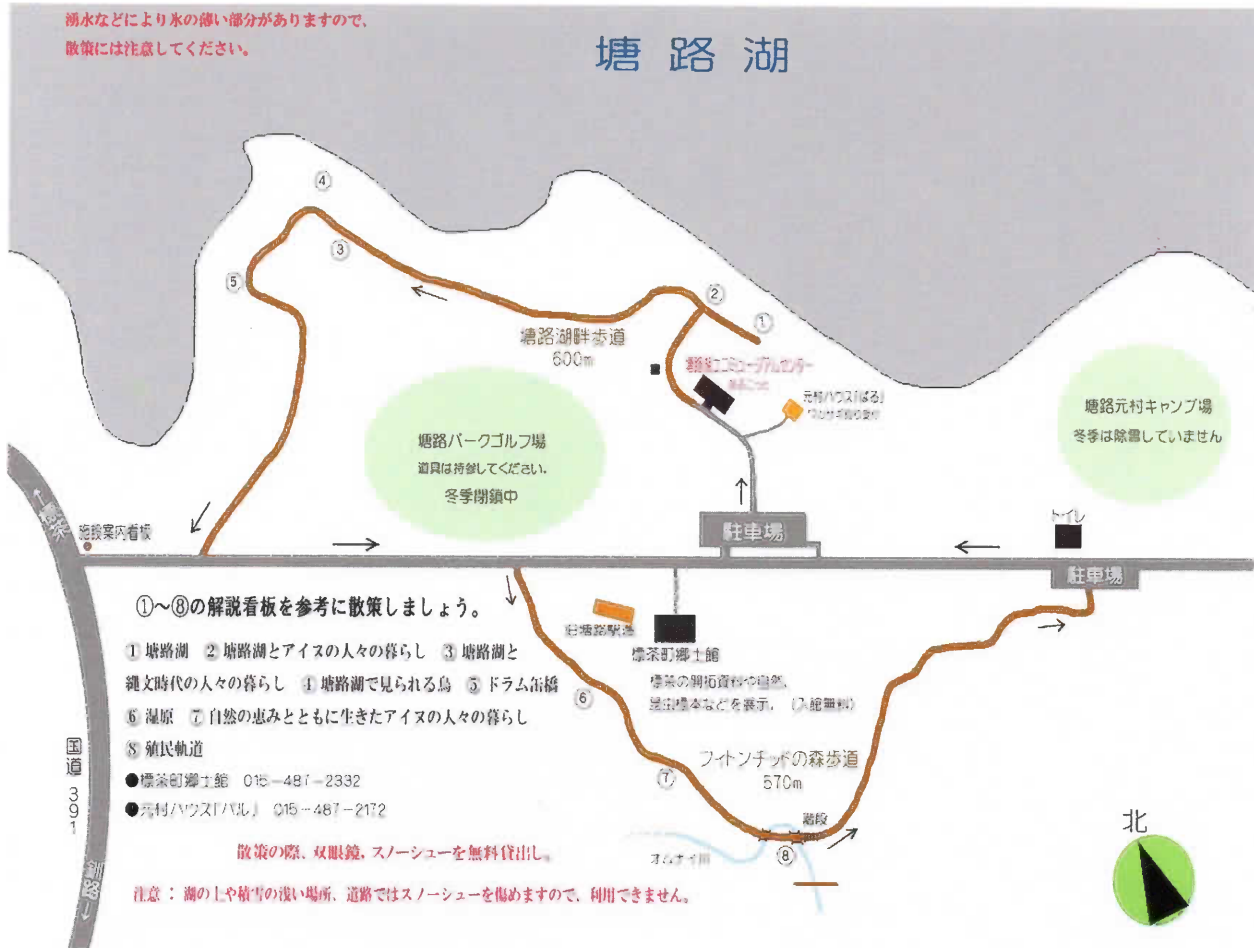
12月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

今年冬は訪れが早く、水鳥たちで賑わっていた湖面も氷が張ってしまった。時折オオハクチョウが上空を通過する姿を見かけるが、何処へ向かって飛んで行くのだろうか。久々に朝の気温が氷点下20℃を記録した日は、冷く重い空気がゆっくりと流れる感じがする。やがて朝陽が対岸の林から顔を出し始め、時間の経過とともに足元や指先、耳、鼻などは冷たさより痛さを感じる。熱いコーヒーを脳裏に浮かべながら足早に家路へと戻る途中、太陽の周りにはキラキラ輝くダイヤモンドダストが見え、オレンジ色に染まる湖面の雪にキタキツネの足跡が対岸に向かって延びていた。やがて湖を走るようにキューンといった音が辺りから聞こえてきた。その音はまるで師走を告げるような音だった。



塘路フィールドノート【11/15～12/14】

【野鳥】

塘路湖畔に今年もオオワシがやってきました。冬の王者の風格を漂わせながら湖上を飛ぶ光景は冬の醍醐味です。一方、結氷が始まった塘路湖では水鳥の姿はほとんど見られなくなり、秋の賑わいが懐かしく感じられます



オオワシ (塘路湖畔)

センター前の木に止まっていた成鳥。オオワシを見ると、長い冬の到来を感じます



オジロワシ (コッタロ湿原)

どちらも若い個体。見事に調和の取れた動きで上空を旋回していました



トビ (塘路湖畔)

湖畔のヤチダモに止まっていたトビの群れ。雪の中、じっと寒さに耐えていました



オオハクチョウ (コッタロ湿原)

コッタロ展望台から確認した小群。眼下を優雅に泳いでいきました



カワアイサ (塘路湖)

湖の結氷前は夕暮れ時にセンターの沖合を大群で移動する姿がよく見られました



カイツブリ (塘路湖)

塘路湖で時々見かけるカイツブリの仲間達。この個体は(ただの)カイツブリの幼鳥



アオサギ (塘路湖)

毎年湖面が凍り始めるこの時期恒例の光景。片足立ちしながら整理しています



ジョウビタキ (塘路湖畔)

塘路湖畔では稀な野鳥です。センター前の木に止まっているところを運よく発見!



スズメ (塘路湖畔)

雪の中、わずかに残ったニシキギの実をついばんでいました

【植物】

この時期のフィールドを歩くと、すっかり枯れた植物の中にわずかに残った果実や花の名残を見つけることができます。「これ何の実?」「これ何の花の名残?」などと考えながら歩くと、おもしろい発見があるかもしれません



ホザキシモツケ (コッタロ湿原)

枯れて茶色く変色してしまったものの、夏同様まだまだ抜群の存在感があります



カラフトイバラ (コッタロ湿原)

わずかに残っていた果実。結実時の瑞々しさはすっかり失せ、しおれかけていました



エゾノコリンゴ (コッタロ湿原)

野鳥に不人気なのか、ドライフルーツ状の果実がまだたくさん残っていました



サラシナショウマ (サルボ展望台付近)

種を落とした後の果実の名残。落葉後、明るくなった森でよく目立ちます



ツルアジサイ (サルルン展望台)

赤く色付いたドライフラワー。冬の間もこの形状を保ち続けます



オオカサモチ (塘路湖畔)

湖畔で見つけたオオカサモチの枯れ跡。枯れた花の上に雪の花が咲いていました

🎄🎄🎄 **自然の素材を使って** 🎄🎄🎄

～クリスマスリースづくり～ 🎄



12月に入り、街も自然もクリスマスムードの中、9日(土)に釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの藪本隆子さんを講師に迎え、クリスマスリースづくりのイベントを開催しました。参加者はまずヤマブドウやツルウメモドキなどを巻いて作ったリース台を2つ選び、選んだリース台に松ぼっくりや乾燥させた植物の果実などを装飾していきました。講師の藪本さんからは素材の紹介や使い方、素材の配置のバランスなどについてアドバイスがあり、そのアドバイスのもと、市販のオーナメントなども使って参加者たちは思い思いの作品を作り上げていました。

■一年の汚れをきれいに ～センターの大掃除～



12月9日(土)、朝の気温が-15℃まで下がった寒さの中、釧路湿原国立公園ボランティアレンジャー(VR)の会の年末恒例行事、センターの大掃除が行われました。

1年間雨・風・雪にさらされ続けた窓、多くの方が使うトイレ、さらに普段は手が回らない展示の細かいすきまなど、一年の汚れをこの日集まった11名のVRさんたちがきれいにしてくれました。

厳しい寒さの中集まっていたいただいたVRの皆さん、ありがとうございました!

来年も引き続きよろしくお願いたします。

1月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎連凧を作って揚げよう

[日 時] 1月6日(土) 10時~12時

[定 員・参加料] 15名 100円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎バードカービング初心者講座

最終回

[日 時] 1月21日(日) 11時~15時

[定 員・参加料] 前回参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎湿原アニマルトラッキング

[日 時] 1月14日(日) 10時~12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 11/15(6:14,15:59).11/30(6:32,15:49).12/14(6:46,15:48)

～編集後記～

■師走を迎えた塘路湖も既に結氷し、時折上空をオジロワシやオオワシが飛ぶ姿が見られます。湖岸で写真を撮ったり、辺りの風景を見ている人がいますが、結氷したとはいえ、薄い部分があり危険です。また道路もアイスバーンとなり滑りますので、車での走行には十分注意してください。日没も早いので、時間にゆとりを持ってくださいね。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00 ~ 17:00

(11 ~ 3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日 ~ 1月3日

入館無料